

実習
2

ペットボトルで ハンギングバスケットを作ろう

ペットボトルのハンギングバスケットづくりを通して生物育成に関する基本的な知識や技術を学び、花のある豊かな環境づくりをしましょう。



ペットボトルのハンギングバスケットとは？

2ℓのペットボトル容器を使い、花苗を植えつける壁掛けタイプの寄せ植えのことです。

多数の作品を組み合わせることで、大きな壁面飾りとなり、学校フェンスなどに装飾することができます。

もくじ

1 地域農業	地域の農業や農作物について知ろう	1
2 ハンギングとは	ハンギングバスケットについて知ろう	1
3 材料準備	必要な道具や材料を準備しよう	3
4 植物特性	使用する植物の特性	3
5 土のはたらき	土のはたらきや肥料について	3
6 作り方	ペットボトルのハンギングを作ろう	4
7 管理方法	毎日の管理を知ろう	6
8 栽培記録	生育記録をつけよう	6

年 組 番 名前

1 地域の農業や農産物について知ろう

<地域の専門家の方や、農業高校の先生から話を聞こう>

- 私たちの住む地域では、どのような農業が営まれ作物が作られているのだろうか。また、花はどのようなものが作られているのかを調べてみよう。
- 地域の野菜や花の生産量は、日本全体の中で、どのくらいなのかなども調べてみよう。



<地域で作られる作物の分類なども調べてみよう>

- (1)作物の分類：〇〇科
- (2)原産地：作物のもともとの産地
- (3)作物の特性：作物の生育上の性質



<地域の中で、草花で飾られた場所や有名な場所を見つけよう>

- (1)花壇や駅前広場
- (2)公園や植物園・花畑 など



2 ハンギングバスケットについて知ろう

ハンギングバスケットとは、どのようなものだろうか。専門家の方から特徴や技法を聞こう。

ハンギングバスケット
Hanging Basket = 吊り下げたカゴ

- ・つるすこと
- ・つりさげる
- ・かご・バスケット
- ・つりかご

・容器(かご・鉢)に植物を植えて、壁に掛けたり吊したりする。 ・空間を飾る立体花壇

壁掛け型のハンギングバスケットは、日本で多く楽しまれています。

吊り下げ型のハンギングバスケットは、都市空間に潤いを与える街の花飾りとして、利用されています。



ハンギングバスケットはいつ頃から楽しまれているのか?

イギリスで発達した歴史のある技法です。

(ヴィクトリア朝の頃に発達した。*ヴィクトリア女王がイギリスを統治していた1837年から1901年の期間を指す)

主にワイヤーバスケットを吊して飾られていました。

日本で、ハンギングバスケットが本格的に楽しまれるようになったのは、大阪で開催された国際花の博覧会(1990年)開催以降です。

ハンギングバスケットのメリット

- 高い位置、人の視線の位置に飾ることができるため装飾効果が高い。
- いくつかのハンギングバスケットを組み合わせると立体的に飾ることができる。
- コンテナガーデンとのコーディネートが可能。
- 移動が可能なので、必要な場所に運び装飾が出来る。
- 壁面に飾ることができるので、庭がなくても楽しめる。
- 風通しが良いので、病害虫が発生しにくい。



ハンギングバスケットのデメリット

- 壁面や空中で育てるため、乾燥しやすい。
- 重量があるので、吊り下げる場所の強度が必要となる。
- 高いところにかけてあるので、水やりや花がら摘みなどの管理に手間がかかる。
- 水やりを頻繁に行うので、肥料の流失が早い。
- 地植えに比べて、植物が長持ちしない。

色々なハンギングバスケット



ワイヤーネット製



手作りの容器



孟宗竹を利用

どんな容器でも花を植えて、掛けたり、吊したりできれば、ハンギングバスケットとして楽しめます。

ハンギングバスケットに適する植物

病害虫の被害にあいにくく、暑さや寒さに強いもの、花が次々に咲くもの、乾燥に強いもの、生長がゆっくりのもの、丸くこんもり育つものが適しています。

秋～春：ビオラ・パンジー、スイートアリッサム、ノースポール、フユシラズ、ハボタンなど

春～秋：ベゴニア・センパフローレンス、ニチニチソウ、インパチェンス、ペチュニア、コリウスなど

通年：シロタエギク、アイビー、ワイヤープランツ、ペアグラスなど

植物選びのポイント

- ・設置する場所の生育環境(日当たり、風通し、気温などの自然環境)にあった植物
- ・栽培する季節や期間に適した植物
- ・病害虫の被害がない苗
- ・間延びしておらず、株がしっかりとしている元気な苗
- ・枝葉が多く、鉢底の穴から少し根が見えている苗

ポイント

水ゴケの役割

- ・土の流失の防止
- ・急激な温度変化防止
- ・乾燥防止
- ・泥はね防止



3 必要な道具や材料を準備しよう

材料の準備



- ・ペットボトル……2ℓの固くしっかりしたもの(角形)
- ・油性ペン……太いもの
- ・はさみ……ペットボトルを切る
- ・作業用手袋……刃物を使うときに着用
- ・ビニールテープ……ペットボトルの切口に貼る
- ・カッター……ペットボトルを切る
- ・キリ……水はけ穴、フックの穴を開ける
- ・すき間テープ……約23cm×2本(市販されている)
- ・培養土……新しい土を使用する
市販の肥料入りの土でよい
- ・ものさし
- ・水ゴケ……ペットボトル上部に敷く
- ・S字フック
又は針金(ワイヤー)……吊り下げ用
- ・肥料(緩効性肥料)
- ・割り箸……1本
- ・土入れ……プラスチックカップや紙コップ、
ペットボトルなどを利用するとよい
- ・移植ごて

4 使用する植物の特性



「使用する植物例」

品 目：ビオラ
科 名：スミレ科
開花期：10月頃から5月頃まで



ビオラ(秋まき一年草)のポット苗を使用します。
(植え付け時期：9月下旬～11月頃)
園芸店や花店では、さまざまな色合いのビオラが売られています。

<ビオラの特徴>

- ・パンジーの中で、花が小さいもの(小輪種)をビオラと呼びます。
- ・花色が豊富で、多花性で、生育すると株が大きくなります。
- ・日当たりと風通しのよい場所を好みます。
- ・パンジー(大輪種)を使用してもよいです。

5 土のはたらきや肥料について

ハンギングバスケットに適した土

- ・保水性が高い。
- ・病原菌や雑草の種子などの雑物の混入がない。
- ・排水性・通気性が良い。
- ・重量が軽い。
- ・pH が適当な範囲。
- ・保肥力がある。

肥 料

植物は、さまざまな養分をバランスよく吸収利用して生育します。小さなバスケットの中では、養分は植物が吸収するばかりでなく、水やりによる流失もあり、養分不足になります。そのため不足する養分を肥料として施します。植え付けのときに元肥として長期間効き目のある肥料を与え、花が咲いている時期には、すぐに効き目のある液体肥料などを与えます。

6 ペットボトルのハンギングを作ろう

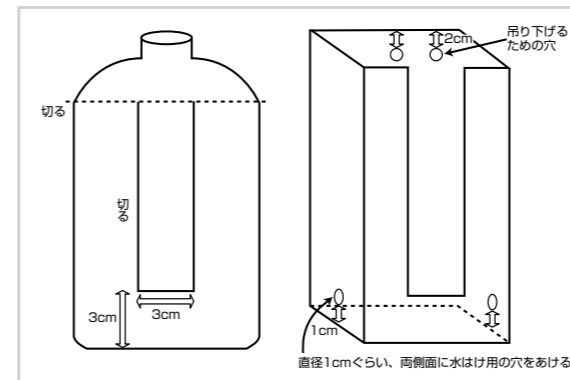
グループ(4人～5人)に分かれて作業をします。

ハンギングの容器を作る

①ペットボトルの切り取り部分に油性ペンで印をつける



②水はけ用の穴を開ける。



ペットボトルの底から1cm程度上の両サイドにキリや目打ちで穴を開け、空いた穴に、はさみの先を入れ、5mm程度まで穴を大きくするとよい。

卓上ボール盤に、ドリルをセットして、穴あけをすると簡単に加工できます。

③ペットボトルの上部を切る。



カッターで、切り込みを入れてはさみが入りやすいようにする。

はさみでペットボトルの口の部分を切りはさず。

穴あけ、切断の完成。

※カッターを使うときには、しっかりとペットボトルを押さえて動かないように気をつける。

注意 カッターを引く時に、刃の手前には手を置かないこと。

④ペットボトルの上部にビニールテープを巻き、すき間テープを貼っていく。



ペットボトルの切り口に、安全のためビニールテープを巻く。

側面の切り口部分に、ペットボトルの内側からすき間テープを貼る。吊り下げ用の穴にワイヤーを通す。

花を植える

① 植え方の手順を聞きます。



完成したペットボトルハンギングを見て完成形をイメージしましょう。



② 土を黄色いラインのあたりまで入れます。



1番目の苗は45度斜め下向きに植えるので、土も45度下向きに入れる。

③ ビオラのポット苗をはずし、植える。



<ビニールポットのはずし方>
花苗を逆さまにして、ビニールポットから苗を抜く。ポットから抜けないときは底穴から指で押すようにするとはずれる。



ビオラの根が生長しやすくなるように、老化苗は古い根を取る。また、すき間テープの間にやりやすくするために、株元の土を少し落とす。



ペットボトルのふちを押さえながら、苗が傷つけないようにペットボトルの中に入れる。苗は斜め45°下向きに入れて、上に土を足していく。

④ 2番目の苗は、水平に植えて土を入れる。



⑤ 3番目の苗は、斜め45度上向きに植えて土を入れる。



最後にすき間がないか確認する。

ポイント

苗と苗の隙間にしっかりと土を入れましょう。割り箸などを使って土を突き、隙間なく土を入れましょう。



⑥ 上部に緩効性肥料を一つまみ置く。



※緩効性肥料
水溶性の速効性肥料に比べて効果がゆっくりと効き、ある程度の期間、効果が持続する肥料をいう。

⑦ 上部に水ゴケを敷きます。



上部に水ゴケを敷くと、水やりの時に土がこぼれたりせず、均一にかん水できるほか、乾燥を防いでくれます。

⑧ 完成です。



完成したら、しっかりと全体に行き渡るように水やりをします。ペットボトルの裏側にも水が行き渡っているか確認しましょう。

⑨ 持ち帰る場合



家に持ち帰るときには、上部と苗の間をビニールテープでとめ、横にして持ち帰るようにする。

7 毎日の管理を知ろう

植えつけ直後は、半日陰、風が当たらない、湿気を保つ条件のもとで一週間ほど養生させます。十分にかん水したあと、日当たりがよく、風通しのよい場所に設置しましょう。

日当たり

光合成が十分に行えるように、長時間日に当たる場所に設置しましょう。



風通し

高温多湿が続くとカビがはえたり、病気になりやすくなります。



花がら摘み

花が咲き終わって枯れた花を「花がら」と言います。放置すると結実*して、次の花がつきにくくなるので花茎の根元からとりましょう。

*結実とは…植物が実を結ぶこと、種ができることをさします。

かん水



ハンギングバスケットは、空中や壁面に設置するため、乾燥しやすい。株元の土の表面が乾いたら株元にゆっくりと水を与えましょう。全体にまんべんなくかん水しましょう。ペットボトルの底から水が出るぐらいが良いでしょう。

追肥

ハンギングバスケットは、乾きやすくかん水が頻繁になり肥料分が流れやすい。植え付け後、3～4週間おきに、緩効性肥料を指で1つまみ(約5g)程度を根元にほどこします。

8 生育記録をつけよう

ハンギングバスケットを観察して記録をつけましょう。日々の観察の中で気がついたことや気をつけることなどを詳しく記録しておきましょう。スケッチや写真などもそえるとよいでしょう。

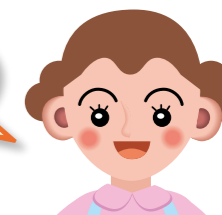
かん水

日々の作業内容を記録しましょう。天候や気温の変化でかん水の回数がかわったり、気がついたことを書いておきましょう。

病害虫予防・駆除

病気になったり、虫が発生したときには早めに駆除をします。薬剤を使う場合は、専門家や先生に相談をしましょう。

スケッチを残しておくと、生育の段階がよくわかりますね。



<作成協力>
千葉県立安房拓心高等学校 / 千葉県南房総市立和田中学校

栽培観察記録表

の栽培		年 組	番 氏名
科 名		植物の分類	
原産地		用 途	
〈適した生育環境〉			
発芽適温		生育適温	
日 照		土	
品種の特色			
栽培のテーマ			
栽培の目標			
	月／日	作業内容・観察記録	スケッチ
準備／育苗・手入れ			
栽培活動を通して			